

横浜市総合保健医療センター

指定管理者選定評価委員会 報告書

令和 7 年 8 月

横浜市総合保健医療センターの指定管理者の選定にあたり、横浜市総合保健医療センター指定管理者選定評価委員会（以下「委員会」という。）は、申請要項、業務の基準、評価項目・基準を作成するとともに、申請団体から提出された申請書類の審査、プレゼンテーション及びヒアリング審査を行いました。

この度、指定候補者を選定しましたので、ここにその結果を報告します。

1 委員会における選定の手順

委員会では、申請団体から提出された書類の審査を行うとともに、プレゼンテーション及びヒアリング審査として、申請団体からの提案説明を受け、委員による質疑等を行いました。

その後、委員による意見交換、審議を経て各委員の採点を確定し、公益財団法人横浜市総合保健医療財団を指定候補者として選定することの可否を審議しました。

2 選定結果

委員会において厳正な選定審査を行った結果、公益財団法人横浜市総合保健医療財団を指定候補者として選定しました。

3 得点

横浜市総合保健医療センター指定管理者申請者採点集計表

項目		評価点
1 総合的な基本方針・達成目標		66/ 75
	(1) 指定管理者としての基本方針・達成目標	66
2 事業計画		232/275
	(1) 診療所の運営に関する事業計画	44
	(2) 介護医療院の運営に関する事業計画	44
	(3) 介護老人保健施設の運営に関する事業計画	42
	(4) 精神障害者支援施設の運営に関する事業計画	44
	(5) 安全管理についての考え方	19
	(6) 各施設の連携についての考え方	20
	(7) その他の事業計画	19
3 職員配置・育成		88/100
	(1) 職員の確保、配置及び育成	88
4 施設の管理運営		228/300
	(1) 施設及び設備の維持保全及び管理	38
	(2) 清掃・外溝植栽管理・環境衛生及び廃棄物処理業務	21
	(3) 個人情報保護・情報公開への取組	21
	(4) 市民サービス、業務水準の向上	40
	(5) 指定管理中の収支計画	36
	(6) 収入確保に向けた取組	36
	(7) コスト削減に向けた取組	36
合 計		614/750

※得点率 81.9% (614 点 ÷ 750 点)

4 講評

委員会としての講評（評価コメント）は次のとおりです。

- 基本理念を全面的に改定し、その理念に共感できるため評価したい。精神障害者の取組、生活支援センターやアウトリーチ支援等、財団として職員の研修に力を入れていることも評価している。今後も継続して行ってほしい。
- 複合施設の良さ、診断から支援につなげているという意味で非常に意義のある施設と感じている。ただしプロセスだけでなく、そのプロセスをどのように評価するのか、数字的な効果がどう出ているかをしっかりと見て行ってほしい。
- 非常に高い理念を持ち職員一丸となって取り組んでいるということが伺えた。人材確保・育成、持続可能な運営に向けて工夫も見えるが、どこの病院も ICT 化と合わせて、転倒防止のために機器を導入するなどしている。コストと効果を踏まえた有効な ICT 化・DX 化が課題と感じた。それらのコスト意識を持って運営に臨んでいただきたい。
- 公益財団法人ということで民間企業とは収支の考え方は異なるが、過去の業績を見ると経営的に心配な面が伺える。コストと収益、費用対効果をしっかり考えながら運営を行わないと法人の存続に疑義が生じてくると強く思った。収支について十分に意識をした経営を期待する。
- 基本方針や理念、目標は素晴らしく、事業計画も現代のニーズに合っていると思われる。ただし、非営利団体のため仕方ないが、収支の意識が民間企業等と比べて乏しいと感じる。健全な運営をするため収支をよく検討することはもう少し頑張っていたいただきたい。

5 選定の経過

- | | |
|-------------------|----------------------|
| (1) 第1回委員会 | 5月26日(月) |
| (2) 申請団体決定のお知らせ | 6月3日(火) |
| (3) 申請書類に関する質問の受付 | 6月10日(火)から6月16日(月)まで |
| (4) 申請書類に関する質問の回答 | 6月23日(月) |
| (5) 申請書類の受付期間 | 6月3日(火)から7月3日(木)まで |
| (6) 第2回委員会 | 8月28日(木) |

6 委員会の開催状況

(1) 第1回

議 題	1 委員長の選出 2 会議の公開について 3 申請要項について 4 業務の基準について 5 評価項目及び評価基準について
日 時	令和7年5月26日(月)18時30分から19時20分まで
開催場所	横浜市庁舎 18階共用会議室 なみき15
出席者	稲本委員、沖野委員、田中委員、村山委員、山田委員
欠席者	なし
決定事項	1 稲本委員を委員長に選任した。 2 第1回は引き続き公開、第2回は非公開とした。 3 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。 4 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。 5 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。

(2) 第2回

議 題	1 プレゼンテーション 2 ヒアリング 3 採点 4 審査及び指定候補者選定 5 選定結果報告書
日 時	令和7年8月28日(木)18時30分から21時00分まで
開催場所	横浜市総合保健医療センター 4階講堂
出席者	稲本委員長、沖野委員、田中委員、村山委員、山田委員
欠席者	なし
決定事項	1 申請団体からのプレゼンテーションを行なった。 2 委員から申請団体に対するヒアリングを行った。 3 各委員の採点結果を合計し、最終得点を決定した。 4 公益財団法人横浜市総合保健医療財団を指定候補者とすることを決定した。 5 事務局から案を説明後、審議し、最終稿の原案は委員長に一任することとした。

7 評価項目及び評価基準（配点は委員1人あたり）

横浜市総合保健医療センター指定管理者選定にあたっての評価項目及び評価基準						
評価項目		内容	配点		採点の基準	
1 総合的な基本方針・達成目標					15点満点×1項目=15点満点	
(1)	指定管理者としての基本方針・達成目標	総合保健医療センターの管理運営にあたって指定管理者としての基本方針・達成目標	5	×3	15	5…特に優れた基本方針と達成目標が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた基本方針と達成目標が示され、実現性が認められる 3…基本方針と達成目標が示され、実現性がほぼ認められる 2…基本方針と達成目標に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…基本方針と達成目標に抽象的・不明確な点が多く、実現性を認められない
2 事業計画					10点満点×4項目+5点満点×3項目=55点満点	
(1)	診療所の運営に関する事業計画	・公の施設としての役割を踏まえた取組 ・利用者満足度向上のための取組 ・施設の稼働率向上のための取組 ・在宅生活支援の方法 ・医療・介護水準向上のための取組 ・関係機関との連携 ・地域医療への支援等についての具体的な計画	5	×2	55	5…計画内容が特に優れており、利用者等に提供するサービス等の水準は大いに高いものと認められる 4…計画内容が優れており、利用者等に提供するサービス等の水準は高いものと認められる 3…標準的な計画内容であり、利用者等に提供するサービス等の水準は中程度のものと認められる 2…計画は具体性、実現性に欠ける点があり、利用者等に提供するサービス等の水準はやや低い 1…計画は具体性、実現性に欠ける点が多く、利用者等に提供するサービス等の水準は低い
(2)	介護医療院の運営に関する事業計画		5	×2		
(3)	介護老人保健施設の運営に関する事業計画		5	×2		
(4)	精神障害者支援施設の運営に関する事業計画		5	×2		
(5)	安全管理についての考え方	事故防止等、医療・介護の安全性の確保	5	×1		
(6)	各施設の連携についての考え方	診療所、介護老人保健施設、精神障害者支援施設等の相互の連携についての考え方、具体的な連携方法	5	×1		
(7)	その他の事業計画	要援護者に対する相談、情報提供等の実施、講習会等の開催、研修生・実習生の受入れなど、要援護者支援の一環として行う事業の計画及び自主事業の計画など	5	×1		
3 職員配置・育成					20点満点×1項目=20点満点	
(1)	職員の確保、配置及び育成	必要な職員の確保と適正な配置及び育成について、勤務体制や業務分担、研修計画など	5	×4	20	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的・不明確な点が多く、実現性を認められない
4 施設の管理運営					10点満点×5項目+5点満点×2項目=60点満点	
(1)	施設及び設備の維持保全及び管理	利用者が施設を快適・安全に利用するための、施設及び設備の保守管理に関する考え方	5	×2	60	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的・不明確な点が多く、実現性を認められない
(2)	清掃・外溝植栽管理・環境衛生及び廃棄物処理業務	清掃、外溝植栽管理計画、環境衛生管理及び廃棄物処理業務について、作業頻度、作業内容、体制など	5	×1		
(3)	個人情報保護・情報公開への取組	個人情報の保護に対する取組みや、法人の運営状況等の公開など	5	×1		
(4)	市民サービス、業務水準の向上	市民サービスのあり方、業務水準の向上、施設のPR、利用促進策、モニタリング等についての具体的計画	5	×2		
(5)	指定管理中の収支計画	令和8年度から12年度までの指定管理経費(管理運営費-施設運営収入)の考え方、目標及び年次計画	5	×2		
(6)	収入確保に向けた取組	利用料金を中心とした収入増を実現するための具体的方策及び年次計画	5	×2		
(7)	コスト削減に向けた取組	コスト削減、効率的運営のための具体的方策及び年次計画	5	×2		
計			150			

8 横浜市総合保健医療センター指定管理者選定委員会委員（50音順・敬称略）

氏 名	所 属 等
◎稲本 淳子	昭和医科大学横浜市北部病院メンタルケアセンター センター長
沖野 智子	公認会計士
田中 弘子	NPO法人まぐのりあ 理事長
村山 洋史	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム 研究副部長（テーマリーダー）
山田 典子	横浜市立大学医学部看護学科精神看護学領域 大学院医学研究科看護学専攻博士課程 社会精神看護学専攻 教授

◎…委員長